



# ネイチャーなら

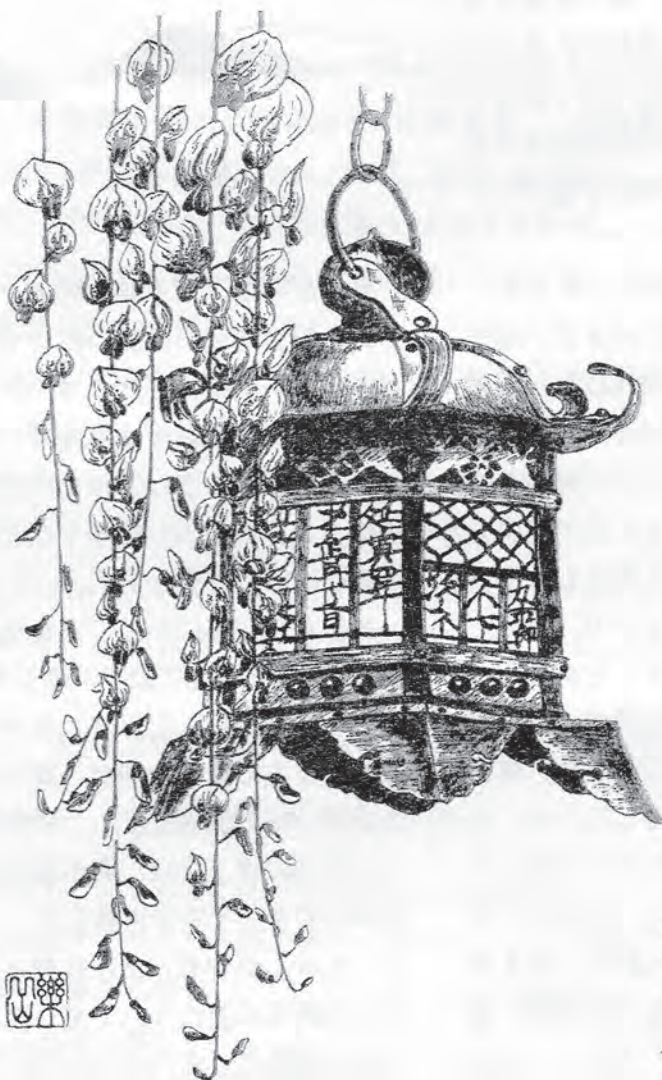
《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2011年5月1日

5月号 第112号

奈良・人と自然の会

会長 阿部和生



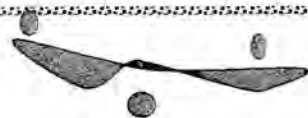
春日大社

万灯籠と  
砂予りの藤



- \* リレー随筆「お元気ですか」
- \* 平群の桃源郷を訪ねて（3月例会）
- \* 親子自然観察会・参加者100余名の「菜の花まつり」
- \* ならやまくレポート・里山自然観察>
- \* 僕たちは清掃ボランティア！「講座」⑦
- \* 可愛さダントツのエナガ・地域情報
- \* 自然俳句・癒しの散歩道・「ご苦労様でした」
- \* 5・6月の行事案内・・・「五条・栄山寺」「矢田丘陵」「柳生街道」
- \* 今月の表紙・ペン画によせて

|    |    |
|----|----|
|    | 1  |
|    | 2  |
|    | 3  |
| 4  | 5  |
|    | 6  |
|    | 7  |
|    | 8  |
| 10 | 9  |
|    | ~  |
|    | 12 |
|    | 13 |



## 「ル」随筆 お元気ですか！

### 地震後の千葉で・・・

平井 隆三

私事で恐縮ですが、娘と孫二人が私たちとしばらく同居をすることになった。娘の家族は東日本大震災で液状化した千葉県浦安市に住んでいた婿殿はすでに転勤の内示が出ており赴任することになっていた。それも岩手県盛岡市である。当初家族で引っ越し予定で準備を進めていたが、引っ越しすべもなくなった。

4月6日ようやく引越しができることになり、荷物だけをおくることにして娘に付き添い浦安市へ行ってきた。東京駅新幹線改札口から京葉線へ、いつもの道を歩いた。何か暗い。照明が半分くらいしかついていない。みやげ物屋や弁当屋、全ての商店が照明を落とすので商いをしていないかのようである。歩く歩道も止まったままである。張り紙がしてあるので、覗いてみる。「節電のため中止しします」とあった。京葉線への長いエスカレーターも同様の張り紙でとまったままである。浦安駅に降りた。駅舎は無事いたるところで復旧工事をしている。マスクをしている人が多い。花粉症か？と思ったがどうもそれだけではなさそうだ。道路のアスファルトの瓦礫も砂もかたづけられて、空き地などに積んである。かたづけ後の砂が薄く道路全面にへばりついている。触ってみた。砂は砂でもパウダー状のさらさらした砂だ。風が吹いたらひとたまりもない。道路の片側の歩道が立ち入り禁止になっている。50CM位の段差が続いている。東日本本大地震の激しさを見た思いだ。道路に水道管が設置されているところで、女の子がタンクに水を汲んでいた。ガス、水道が復旧してない地区もあるのだ。かれこれ一ヶ月もたつのに。引越しを済ませ奈良に帰ってきた。いつもの日常がある。孫とのつかの間の楽

しい日々を過ごしながら、ふとあの女の子はまだ水汲みをしているのだろうかと思いをはせる。



### ふるさと

八尋ハル

私の故郷は、栃木県佐野市。東京都心から車でおよそ2時間の山間の町です。高度成長期にゴルフ場が出来ました。ゴルフ場計画が持ち上がった時長兄は最後まで反対したそうです。周囲が次々と買収されてゆく中で残された長兄は、通称「ころがり山」を残すことを条件にしぶしぶ買収に応じたそうです。

去年から今年にかけて、長兄夫婦が相次いで亡くなり、その度に故郷に帰る事になりました。実家の墓地から久しぶりころがり山を眺めていると、当主になった甥が、買収に応じなかった訳を話してくれました。

あの山の頂上には、我が家は勿論のこと集落全体の安全と平安を祈願して

じいちゃんが背負い上げた祠と石が置いてある。自分も親父に連れられて登ったことがあるが、今祠は朽ちてしまっているだろう。

頑固で無口で近寄りがたかった兄の一面を知ると同時に、遠のいていた故郷の思い出があれこれ蘇ってきました。

甥の、「いつでも帰れるようにきちんと家は守るから」との言葉に送られて、来年はころがり山に登ろうと思いながら実家を後にしました。



何年か前の会報で平群に桃源郷のような里がある事を知った。一度訪ねてみたいものと思っていた。今回ようやく望みが叶った。

3月23日(水)近鉄信貴山下駅に集合。参加者は36名。春の日差しが眩しい程である。バスで信貴山口まで行く。ここより徒歩で本日の観察会の始まりである。

出発前、倉田リーダーから「足元に気をつけて怪我をしないように、お互いに草花の名前等教えあいをするように、農家の私有地を歩く事もあるので配慮が必要」というような注意事項を聞き、軽くストレッチをして信貴山朝護孫子寺へ緩やかな参道をのぼる。

山門をくぐると左手に朱も鮮やかな開運橋。橋の半ばに立って信貴山に抱かれた七堂伽藍の全容をながめる。玉垣、石燈籠に沿って本堂に向かう。推定樹齢500年の公孫樹は沢山の短枝をつけている。天を覆うばかりの榎の古木もある。シンボルの大きな虎はユーモラス。

囀や張子の虎は首を振る

本堂の回廊からの景色は素晴らしく、遠くたななずく大和青垣を眺めることができた。境内の



桜の開花には時期が早かったけれども、回廊から見渡す桜はさぞかし見事なものと思われる。

近畿自然歩道で奥の院に向かう。ここは汗かき毘沙門天、焼米の湧出霊場などの謂れのある所。お堂から祈祷の声も聞こえる。奥の院ではイヌガシの花を教えてもらった。常緑の葉の下に濃い小豆色を湛えた花が群がっている。

アップダウンの木洩れ日の岨道にミツバツジの芽吹きやアオモジの花を楽しみつつ歩をすめる。枯木をコゲラがコツコツと突いている。しばらく眺める。山中の池では鮒釣りをしてい

る人達がいた。キャッチ・アンド・リリースを信条としているとか。

神の池太公望に日脚伸ぶ

瀬音のする辺りでは、きれいな葉をつけ枝先に花をつけたヤマザクラにも出会った。笹が狭い道を覆うように垂れている。そのトンネルをくぐりぬけるとぱっと視界が開けた。

レンギョウの花はまるで黄色の屏風が立てかけてあるかのように見える。ケイオウサクラは優しいピンクの花弁をひらひらと散らしているものもある。切花として出荷した後の残り枝にはハナモモが咲いている。こんもりとした木にツバキも花を沢山つけている。アオモジの花は今が盛り。空にはゆうゆうとタカの飛翔。サクラ、ウメ、モモの花の区別の仕方を教わり、アオモジとクロモジの花のちがいやアオモジの説明を聞き心満たされた思いであった。

昼食後、本日のメインの福貴の里を目指す。右に左に棚田を見る。土手にはつくしが摘めとばかりに頭をだしている。

つくし摘むはかまの始末言いながら

福貴のビューポイントに到着。アオモジ、ハクバイ、コウバイ、ハナモモ、ツバキ、木々の芽吹きの色も加わりなだらかな谷を覆っている。全体に紗をかけたようにも見える。ウグイスの声も聞こえる。えもいわれぬ景色である。これこそ桃源郷と言って憚らない。

時期が少し早かったと後でお聞きしたが、私はこのような場所はその時々で人の心を慰め、癒し、元気を与えてくれるような気がする。その後、フットワークも軽く予定通り14時45分平群町中央公民館に到着した。

帰路ふと思った。東北には三春という地名もあるように、時が来ると桃、梅、桜が一度に咲きほこり春爛漫を身をもって体感すると聞いた。今年も花は時を忘れずに咲きほこり、未曾有の大惨事に遭われた方々をどうか元気づけてあげて欲しいと祈らずにはおられない。

## 兜谷公園自然観察会を実施

4月3日(日) 木津川市兜谷公園で地域の子  
どもたちや保護者を対象に自然観察会を実施し  
ました。サクラやクスノキ、クロガネモチやス  
イバの不思議を一緒に観察しました。また「不  
思議な散歩」をしたり、ウグイス笛を作るなど  
楽しいひと時を過ごしました。

参加者は全体で27名、スタッフは4名でし  
た。「ならやまにも遊びに行こう」とか「次の観  
察会も考えよう」とかいった声も出ており、今  
後もいろいろな展開がありそうです。

(倉田記)



### 《菜の花まつりが開催されました》

4月10日(日)、奈良・人と自然の会のベースキャ  
ンプ「ならやま」で会員やならコープ組合員など12  
7人が参加し菜の花まつりが開催されました。新大宮  
駅を10時に出発した参加者は佐保川堤や興福院など  
の満開の桜を楽しみ、11時半には「ならやま」に到  
着。会員による心のこもったおみそ汁とヨモギ、ドク  
ダミ、セリ、ユキノシタなどの野草や菜の花の天ぷら  
が振る舞われました。食事の後は整備された里山を会  
員の案内で散策。



天候に恵まれ、桜や菜の花を愛でながらのウォーキ  
ングに参加者は大満足の様子で「ならやま」を後にし、  
元気に平城京跡めざして出発しました。

(豊島 すみ子)

# ならやまプロジェクト・レポート 23年4月

4月7日(木) 晴 参加者42名

- ・午前中は全員で、西ノ京斑鳩自転車道沿い、24号線バイパス下、ならやま大通り沿いの一斉ごみ収集を実施した。冷蔵庫、洗濯機、自動車タイヤ、ドラム缶、家庭用ゴミ等々、2トントラック4台分を超えるゴミや廃棄物が集まった。
- ・午後から里山Gは、E1地区JR沿いの間伐を完了。農園Gは大蒜の除草とネギの収穫。
- ・景観Gは水路のゴミ浚えとピオトープのアオミドロの除去を実施した。

4月10日(日)～菜の花祭り～ 晴 参加者17名+ビジター110名 (合計127名)

- ・ならコーポ主催の「菜の花ウオーキング」参加者110名の昼食場所の設営、共同でみそ汁等の炊き出し手配。昼食後、参加者を里山の自然観察に案内し、里山の自然を満喫していただいた。



4月14日(木) 晴 参加者44名

- ・里山Gは、里山整備D1地区北面およびならやま自然保護林のルート整備をした。
- ・農園Gは茄子畑排水溝の開通、豌豆の支柱立て(本日から新茄子クラブの発足)を実施した。
- ・景観Gは排水溝の擁壁整備完了、ピオトープのアオミドロ取りを実施した。
- ・4月24日(日)アースデイの出展準備(セミ太郎&ブンブンゴマの試作)

4月21日(木) 晴 参加者38名

- ・里山GはD1~D3地区の北面の整備。タケノコの収穫。
- ・農園Gは里芋の植付け、葱とインゲン豆の播種、水田の畔造り、花菖蒲の苗の植付け。
- ・景観Gは周辺の草取り、花壇の整備、アオミドロ除去および木枠を沈め、池に中ノ島と深みを造った。



ウワミズザクラ



ザイフリボク



満開の菜の花

今年は春先の寒さが続いたため、タケノコが遅れ、サクラが遅れたが、レンゲ、ナノハナ、ウワミズザクラ、ザイフリボク等が一斉に咲きました。(藤田秀憲 記)

## ならやま里山林自然観察レポート

### \*ならやま里山林花だより\*

山中笙子

4月14日 里山は春爛漫、たくさんの春の花が次々と咲きそろい私たちの目と心を楽しませてくれています。

草花：ハコベ、ナズナ、タネツケバナ、オオイヌノフグリ、ホトケノザ

ヒメオドリコソウ、オランダミミナグサ、スズメノテッポウ

スズメノヤリ、ナノハナ、カンサイタンポポ、セイヨウタンポポ

カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、カタバミ、ヘビイチゴ

ヤブヘビイチゴ、オヘビイチゴ、シハイスミレ、タチツボスミレ

ゲンゲ、カキドウシ、トウダイグサ、ノボロギク、ノゲシ

ムラサキケマン、ムラサキサギゴケ、キュウリグサ

木の花：アセビ、クロモジ、オオシマザクラ、シダレザクラ、スモモ

ユキヤナギ、レンギョウ、コバノミツバツツジ、モチツツジ

ヤブツバキ、ウスノキ、サルトリイバラ、アケビ、ミツバアケビ

ヤマザクラ、ザイフリボク、クヌギ、アベマキ、

ウワミズザクラ（蕾）コバノガマズミ（蕾）

花壇：ジュウニヒトエ、ショカツサイ、ツリガネスイセン



キュウリグサ（ムラサキ科）は、ワスレナグサと同じ仲間で3mm径の真中が黄色いブルーの可愛い花を咲かせます。花茎の先はサソリの尾っぽの様にくるくる巻いており、咲き進むにつれ真つすぐに伸びて行きます。茎や葉をもむとキュウリの様な匂いがするのが名の由来。ルーペで覗いてみて下さい。

### \*ならやま鳥だより\*

小田久美子

4月11日（月）4月探鳥会は2人観察。13種49羽でした。

おめでとう！！

23年1月9日 実施された「ならまほろばソムリエ検定試験」に会員の 小田久美子さんが挑戦 見事合格されました。2級1級とすすみ、小論文もあるソムリエ挑戦は、大変な難関です。奈良県の歴史、文化、自然、神社仏閣、……と全般に亘る知識と見識が問われる資格です。素晴らしいですね！ 毎年進級しても3年は必要。今年度合格者76人の中のお一人です。野鳥観察の第一人者にまた看板が一つ増えました。機会があればその蘊蓄をご披露していただけることでしょう、拍手、拍手!! です。

会員のみなさんで合格された方がおられたらお知らせください。（阿部和生）

# 僕たちは清掃ボランティア

## —やさしい昆虫講座（第7話）—

木村 裕

もう一つのアブラムシ（油虫）、すなわちゴキブリを紹介します。あんなものを昆虫と呼ぶにはおこがましいと言わせるほど、奥様方の嫌われ者になっていますが、私たち人類の出現前からこの地球に住み着いていた生き物です。約3億年前、古生代の石炭紀から生き延び、人類滅亡後も生き残ると言われており、東北大震災で問題となっている原発の放射線に対してもかなり高い抵抗力を持っているそうです。

世界に4000種、日本には50種余りいると言われていますが、主として熱帯地方に住んでおり、日本では九州南部から沖縄に多くの種がいます。全般的に寒がりやで、北海道や中部地方の高山の上では住んでおりません。私たちと関わりのある種はクロゴキブリ、ヤマトゴキブリ、チャバネゴキブリ、モリチャバネゴキブリの4種です。

食べ物は人間の食べる物なら何でも美味しく食べるようです。また、糞、動物の死骸、カビ、油、垢、毛髪、和紙等何でもござれで、体内に優秀な微生物を飼っているため食中毒も起さずに消化できます。唯一の苦手は家の中を徘徊する大きなクモ（アシダカグモ）と猫です。これに捕まると一巻の終わりです。

最もなじみの深いのはクロゴキブリで、家庭内を我が物顔で走り回っています。ご機嫌で散歩しているゴキブリを急に驚ろかしたり、エアゾール剤でやっつけようとする、羽根を広げて飛び掛って逆襲し、攻守逆転となって奥様方に黄色い悲鳴をあげさせます。ゴキブリは逆襲する気はないのですが、我を忘れて無我夢中で逃げ惑う結果起こったことです。

クロゴキブリに姿や色が似ているのはヤマトゴキブリで主として野外に住んでいて、ときどき人間様のお家に無断で訪問するようです。メスは羽根が短く飛び回ることはありません。

チャバネゴキブリは、体が小さくて（体長12~14mm）、黄褐色。主としてレストランや喫茶店に住み、テーブル上にとときどきチョロチョロと可愛い姿を見せます。寒さが苦手な冷暖房完備が必須条件です。しかし、最近の住宅はこの条件を満たしつつあるので一般家庭にも姿を見せ始めています。ちなみに隙間だらけの我が家ではクロゴキブリのみです。

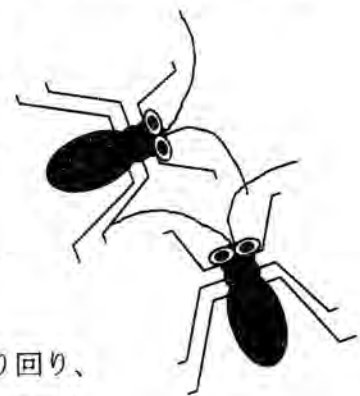
チャバネゴキブリに姿や色がよく似ているのがモリチャバネゴキブリです。森や林などの野外で見られるのはこの種です。

南方に行くと、もっと大きな黒色のゴキブリ、白い斑紋をもったゴキブリなどがおり、南米には色鮮やかな緑色の別嬪さんもいます。

ゴキブリ退治にエアゾール剤を吹き付けると、気が狂ったように走り回り、何処かに潜り込んでしまいがちですが、時間が経過すると死亡しますのでご心配なく。

とことん追い回して虫が仰向けにひっくり返って動かなくなるまで薬剤をかけ続ける奥様がありますが、その必要はありません。薬剤は虫の体内に取り込まれてじわりと効いてきますので、早くても30分はかかります。目の前で死ぬのは、散布された薬剤が呼吸をしている気門を塞ぐから窒息死です。だから洗剤を散布しても死ぬのです。

日頃からボランティアでゴミや動物の死骸などの始末をしていますので、容姿は悪いですが嫌わずに仲良く付き合ってください。これはゴキブリからの要望です。



# とりシリーズ

## 可愛いさではダントツのエナガ

小田 久美子

弱い小鳥たちは冬、混群(シジュウカラ・ヤマガラ・メジロ・コゲラなど)を作り一緒に行動していますが、エナガは最も早く群れを離れ番を形成すると云われます。野鳥の会が矢田山で竹刈りをしているエリアで子育てが目撃されました。楽しみに見守っていたところ4/10巣が壊され落ちていたと聞きました。犯人と思しきカラスも繁殖期に入り、この巣もチェックリストに入っていたのでしょうか。先日、高畑の友人からも子育てエナガの情報が入り出かけて来ました。人が往来する桜の木に大胆に新居を構えていて、夫婦でせっせとエサを運んでいます。桜を写すつもりの人が真下で巣の方にカメラを向けても動じません。ならやまでも可愛い眩しが良く聞かれるエナガですから、この林でもきっと何処かで子育てをしていると思います。もし目撃することがありましたら、子育てが終わった後の巣を外してご覧下さい。嘴だけで作るとても精巧な細工にビックリされることでしょう。

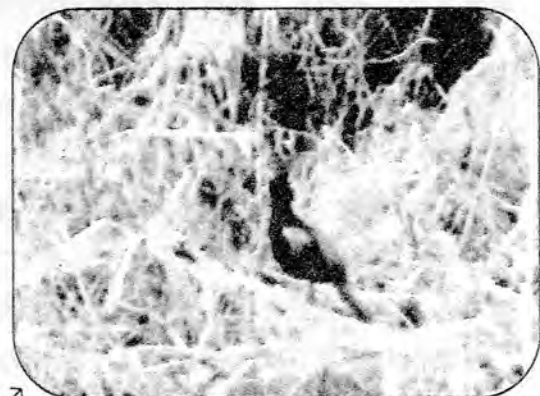


ねくらには、次々に間に割り込むので、最初にくっついてはまるの2羽はいつの間にか両端になっている (鳥のみは私生活)のカット例

## ちいきじょうほう

★3月27日御所の畑で目の前をキジ♂がとつととつと早足で通り過ぎる。31日自宅(檀原)近くの畑で大きい声で「ケーンケーン」。「近いぞ」と探したらこれまた立派なキジがとつととつとと・その急ぎ走る様子がなんとも面白い。  
 ・4月16日高松塚古墳の近くでキジのペアを見る。揃ってエサを探している。♀が♂の前を歩いていてまるで♂を従えているみたい。  
 ・4月17日朝9時自宅の畑に着いた途端 待っていたかのようにツツドリが裏山で「ポポッ ポポッ」と鳴き出す。去年は4月26日に鳴いていたから大分はよい。(斎藤)

★(斑鳩)今年もニューナイスズメが桜の蜜を吸い(盗蜜)にやってきました。サクラの木の下に花がそのまま落ちていることでよく分かります。毎日キジが大きな声で自己主張してます。



キジ♂

(勝田)



## 自然俳句欄

3月23日。3月度例会 信貴山 桃源郷。好天に恵まれるも、余寒あり。  
多彩な春の花木・草花が迎えて呉れる。俳句愛好の参加者から投句をいただく。

はなむしろ  
桃源の藪漕ぎ果てぬ花筵 土居 通子

山ふところには、林道・農道・細道・小道と趣のある道がある。時には藪の中を通る事も。桃源郷には脚を癒す春の花々が、早春賦を謳い奏でる。

おおあくび  
連翹や張子の虎の大欠伸 川崎 和江

連翹の黄の滴りが見事だ。作者は虎の尻尾を連想されたのだろう。比喩的に暗喩の世界を見事に捉え、大欠伸にのどかな春が伝わってくる。

青文字の花咲くまるで貴賓室 川井 秀夫

この地では珍しい青文字の群生が見られる。昼餼は花の囲の中で、どこかの貴賓室に居る様な心地がする。

光の矢まず連翹に突き刺さる 川井 秀夫

花色は光りて変化する。多様な花の中に、ひときわ連翹の黄が美しい。光の矢はまず、この花を仕留めた様だ。

野に羅漢土筆坊やの揃い踏み 川井 秀夫

野道にツクシの群生を発見。五百羅漢の様に、様々な表情、形がある。丸で袴をつけた子供のお相撲さんが並んで居る様だ。春だ春だと声がする。





## 被災者の勇者の挽歌

(東北大震災に寄せて)

谷川 雅邦

私達にどうか笑顔をください  
だから哀しみの涙なんかいら  
そして貴方の勇気をほんの少  
今こそみんな前を向いて歩  
人の情の尊さを噛みしめながら

小さなその希望の灯りを消さないで  
胸いっぱい嬉し涙が欲しいから  
私にください明るくなれるように  
あなたの暖かな心が傍にあるならば  
温もりの里を皆でこの手にするまで

ポリ袋：ねえ、タイヤさん、もう少し静かに  
してくれませんか。中に瓶子さんや缶君等が  
一杯でもう破れそう。

タイヤ：悪いのは分かっているが、この一輪  
車を支えている現役のタイヤ君と同じで、  
俺も老いぼれたとは言え、  
まだまだ弾力十分でさ、  
どうしてもピョンコ  
ピョンコ踊ってしまうんだ。

ポリ袋：役目とは言え、  
ついさっき迄はまっ新だっ  
たのよ……私。

タイヤ：もうすぐだから辛抱しな、俺は人間  
との付き合いが長かったから彼等の話が  
分かるんだ。さっきトラックで冷蔵庫が運  
ばれて行ったろう、みんな一所へ集めら  
れ、後日県の職員さんが処理場への段取  
りさ。

ポリ袋：他にも色々な物が入ってるわ、多く  
は外国から来てお役に立ってくれたのに  
ね。みんなはなやかな頃を思い出して泣い  
てるわ……。

タイヤ：普通ならこんな里山でゴミ<sup>セイ</sup>生  
を送らずとも焼却やリサイク  
ルで苦しまずに済むのにさ。  
長い事いやな目に晒され悔し  
い思いしたけど……。  
ポリ袋：そうよ皆も言ってる  
は、土に埋まった物も多く  
全部埋まってしまったら  
どんなにか自然に迷惑をか  
けていたかも知れないって。

タイヤ：彼等の労苦でここもきれいになるだ  
ろう。我等ゴミ<sup>セイ</sup>生のエンドに春爛漫だ。



「ご苦労さまでした」

竹本 雅昭



# 行事案内

※原則：前日午後7時前のNHK天気予報で、降水確率(午前)60%以上の場合は中止  
※当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません

## 『ならやま里山林プロジェクト5月の予定』

場所： 奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林（JR平城山駅下車徒歩10分）  
—「ならやま会館」前の道路（ならやま大通り）の南側に広がる林地—

日時： 5月 5日（木） 活動日  
5月12日（木） 活動日  
5月21日（土） 活動日 教育実習生受入  
5月26日（木） 活動日  
5月31日（火） 雨天予備日



集合： 現地ベースキャンプ地 9時 終了予定 3時  
交通： ①近鉄奈良駅 バス13乗場8：23発 高の原行（平日・土曜）  
②近鉄高の原駅 バス1番乗場8：32発 JR奈良行（平日）  
8：30発 JR奈良行（土曜）  
①、②とも佐保台西口、または平城大橋で下車 徒歩約7分

携行品など：

・弁当、飲み物、軍手（作業用具は現地にて用意）

\*環境保護のため、コップ・箸・椀などは各自でご持参下さい。

活動内容：

- ・里山整備、環境整備、花木植栽等の景観形成、植生調査、椎茸作り
- ・復元した田畑での「旬の野菜・健康野菜の有機栽培」、堆肥作り、土作り
- ・「市街地にある里山」を体験する各種イベント、学校授業「田圃の教室」
- ・広域里山パトロール（保全、ナラ枯れ点検、生物調査など）

連絡先：

古川祐司

、鈴木末一

藤田秀憲

## ★ならやま・バードウォッチング

- ☆日 時： 5月9日(月) 7:00集合 \*集合時間が早くなりました。  
★集合場所： ならやま駐車場  
☆小雨決行： 判断の難しい時は担当者に問い合わせてください。  
★担当者： 小田 ・ 菊川

## \*平成23年度総会\*

- ☆日 時： 5月14日(土) 13:30~15:30頃  
★場 所： 奈良市中部公民館 奈良市上三条町23-4  
☆内 容： 総会・「ならやまの昆虫」紹介  
\*詳細は別紙をご覧ください。

### 【5月度 例会】

## 五条・栄山寺と花の古寺を訪ねる

近鉄福神(フクガミ)駅より、金剛山や葛城山の眺望を楽しみながら阿田明神社まで下り、西阿田より新緑の吉野川に出会うと芝崎の奇岩を眺めながら「水辺の広場」から「栄山寺」へ。  
藤原武智麻呂が719年に創建した、天平の香り高い「栄山寺」は国宝八角円堂を始め多数の文化財を持つ名刹。当日は八角円堂の内陣や本堂の御本尊・薬師如来坐像の特別開帳です。さらに花の古寺「金剛寺」では花を愛でた後、JR五条駅に向かいます。  
新緑の吉野川流域の散策には最高のコースをご期待ください。

- 日時： 5月22日(日) 午前9時30分 集合  
集合： 近鉄・吉野線 福神(フクガミ)駅前  
・ 西大寺<橿原神宮前行急行>8:21…八木8:45…橿原神宮前8:50着(乗換)  
・ 大阪阿倍野橋<吉野行急行>8:20…橿原神宮前8:58発…福神 9:25 着  
行程： 近鉄福神駅～阿田明神社～西阿田～水辺の広場～栄山寺～金剛寺～JR五条駅  
担当： 弓場 厚次 豊島 すみ子



## 自然観察会のご案内

担当：自然教室チーム

大和民俗公園近辺での自然観察会を開催します。

講師は「大和郡山市 野遊びサポーター」の山口明夫さんと御宮地伸彦さんを予定しています。

矢田丘陵近辺の植物を中心に、「自然観察の仕方」「子どもへの伝え方」「自然遊び」などを学びます。

自然教室チームスタッフだけでなく、自然観察や自然遊び、その伝え方に興味のある方のご参加をお待ちしています。

○日時：5月24日(火)10時～12時（前日午後7時前の天気予報で降水確率60%以上の場合は中止）

○集合場所と時間：「大和郡山市少年自然の家」前駐車場 10時集合

○持参するもの：ルーペ、双眼鏡、筆記用具、雨具、昼食、飲み物

○アクセス：車の場合は駐車場あり。バスの場合は以下を参照。

\*近鉄郡山駅東口から5分ほどの奈良交通バス乗り場（西友の前）

①番矢田寺・JR小泉駅方面乗り場

9時05分発 JR小泉駅行きに乗車「矢田東山停留所」で下車 徒歩15分

\*JR大和小泉駅東口 ①番バス乗り場

9時0分または9時15分発 近鉄郡山駅行きに乗車「矢田東山停留所」で下車

○準備の関係があるため、参加希望者は下記までご連絡ください。（5月10日まで）

○連絡先：倉田 晃

○その他：自然観察会終了後大和民俗博物館に入られる場合、65歳以上は無料。（証明書必要）

<6月の予定> \*下記行事の詳細は会報第113号（6月号）でお知らせします。

### 6月例会 初夏の矢田丘陵を歩く

自然豊かな矢田丘陵です。さまざまな花や若葉が私たちが歓迎してくれるでしょう。

見頃を迎える矢田寺のアジサイや大和民俗公園のハナショウブも楽しみましょう。初めての方も、行ったことのある方も 奮ってご参加ください。

1. 実施日：6月15日(水)

2. 行程：矢田寺→東明寺→こどもの森→大和民俗公園→15時頃解散予定

3. 集合時間と場所：10時 矢田寺前バス停集合

4. 担当：倉田 晃、森

### <6月オプション行事> 東海自然歩道・柳生街道に行く

— 剣豪が歩んだ道を偲び柳生から忍辱山円城寺へ —

日時：6月28日(火曜) 近鉄奈良駅集合 9:30 帰りは奈良駅にて5時頃

約8キロのややきつい行程になりますが、柳生の花菖蒲園を楽しみ、途中の大柳生よりのバスで帰るゆったりコースをとるグループと全コースを歩くがんばりグループに分かれて行動することも考えています。

担当：板橋・菊川

## 平成23年4月度幹事会報告

日時：平成23年4月5日（火）18:00~20:10 出席者：役員・顧問全員（司会：鈴木、記録：菊川）

(1) 現在の会員数134名。

(2) 行事関係

①3月例会：信貴山～桃源郷 3月23日（水）参加者：36名、アオモジの花などが楽しめた。②新入会員歓迎会 3月24日（木）新入会員は16名中12名参加。併せて東日本大震災の義援金募集も行われた。4万円近くが集まり、5万円にして贈った。

③兜台自治会桜まつり・自然観察 4月3日（日）地域の参加者：27名（子供10名、成人17名）内容：植物観察（サクラ・クロガネモチ・スイバなど）と工作（ウグイス笛作り）。好評を得た。

(3) ならやま里山林プロジェクト関係 ①活動参加者数 3月：202名（うちビジター30名）（前年同月は196名）、22年度年間では2221名 ②新観察路の初期整備はほぼ終了

(4) 佐保自然の森関係 県から請負った業者が探索路その他の工事を3月中に完成させた。

(5) 広報用パンフ「ならやまの四季」が完成し、奈良市中部公民館などに配置した。

(6) 4月行事 ①4月例会：19日 佐保路深堀歴史探訪 ②オプション企画：27日 初瀬街道

### 表紙のペン画によせて

境 寛

春日大社の年中行事「万灯籠」は年に2回2月の節分万灯籠と8月14、15日の中元万灯籠があり、境内に約3000基ある灯籠、これらすべてに火が灯されます。境内には大小さまざまな石灯籠がありますが、本殿回廊内には釣り灯籠が吊り下げられています。この回廊内の直会殿前には有名な「砂ずりの藤」があります。藤の花穂が1m以上垂れ下がり地面の砂を擦るほどのびることから、この名前がついていますが、私はそこまで垂れ下がった藤を見たことがありません。

この藤の木は樹齢約800年と古く、鎌倉時代後期に書かれた絵巻「春日権現験記」にもこの場所に藤があったと記されています。この藤はノダフジの変種といわれています

フジマメ科 (Fabaceae) フジ属 (Wisteria)

花言葉「歓迎」「決して離れない」

編集後記：\*「ならやまP.レポート」及び「ならやま花だより」は4月号より藤田さん、吉村さんと山中さんに担当が代わりました。古川さん、守口さん長い間ご苦勞様でした。\*会報発送作業・編集会議日：6月号の作業は5月25日（水）午前9時から「西奈良ボランティアセンター」で行います。何かとお忙しいでしょうが、ご協力お願いいたします。

編集担当：勝田 均

奈良・人と自然の会：

TEL&FAX